

対象患者：非小細胞肺癌
レジメン名：CDDP+PEM+BEV
1コースの日数：21日

催吐性リスク：高度
血管外漏出リスク
シスプラチン：報告なし
ペメトレキセド：非壊死起因性抗がん薬
ペバシズマブ：非壊死起因性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day						
						1	～	8	～	15	～	21
1	パロノセトロン デキサメタゾン	0.75mg 9.9mg	点滴静注	メインルート	30分	○						
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						
3	ペメトレキセド 生理食塩液	500mg/m ² 100mL	点滴静注	メインルート	10分	○						
4	硫酸Mg補正液 維持液	4mEq 500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○						
5	マンニトールS注射液®	150mL	点滴静注	メインルート	15分	○						
6	シスプラチン 生理食塩液	75mg/m ² 500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○						
7	生理食塩液	500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○						
8	硫酸Mg補正液 維持液	4mEq 500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○						
9	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						
10	ペバシズマブ 生理食塩液	15mg/kg 100mL	点滴静注	メインルート	1時間30分(1回目) 1時間(2回目) 30分(3回目以降)	○						
11	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○						

点滴順序：Rp1→2→3→4→5→6→7→8→9→10→11

投与時間：6時間25分(1回目)、5時間55分(2回目)、5時間25分(3回目以降)

備考：

治療開始1週間前より、副作用予防としてビタミンB₁₂ 1mg(9週毎筋注)および葉酸 0.5mg(連日内服)を投与する。

制吐剤として下記を内服する。

・ アブレピタント125mg/day 分1(day1)、80mg/day 分1(day2-3)

・ オランザピン5mg/day 分1(day1-4) *糖尿病既往の患者は使用禁止

・ デキサメタゾン8mg/day 分2(day2-4)

シスプラチン投与終了までに1L程度の経口補液を患者に促す。

4コース終了後、増悪を認めなければPEM+BEVの維持療法を考慮する。